

(1) 総括

① 入館者数、貸出冊数

前年比:入館者数(100%)、貸出冊数(133%)(2月まで)
 昨年度休館の4,5月を除くと、前年比入館者数(93%)、貸出冊数(111%)。入館者数はコロナ感染対策による来館自粛と長期間の学習席閉鎖が影響し実質減少。貸出冊数は、まとめ貸出等で増加。



② 電子図書館

貸出回数:前年比174%(2月まで)

電子図書館の閲覧数は、引き続き大幅な利用増が続いている。
 特に緊急事態宣言が発令された8,9月では、前年比211%

(2) 経営目標推進結果

① 知と憩いの拠点

【目標1】地域の「知と憩いの拠点」を担う施設であることを認識し、社会教育、生涯学習の支援を意識的に行うこと。

・定例事業、企画事業の再開

郷土史講座(10回ほぼ満席)。分館でも開催、新規聴講者多数参加。

・調べる学習の取り組み実施

応募総数205点(+185点)、三田市地域コンクール:11名表彰(優秀賞5名、優良賞6名)(12/5)、全国コンクール:優良賞、奨励賞各1名、佳作3名受賞

・ボランティア活動募集(新規):修理ボランティア2名

・地域資料の整備

見出しの改良、郷土史研究者コーナーの設置、OPACによる三田地域資料の検索、地域資料パンフレット一覧をHPに掲載



② 高齢者や障害者が利用しやすい環境づくり

【目標2】高齢者や障害者が利用しやすい環境を実現すること。

・電子図書館コンテンツ充実 1,146コンテンツ増、計10,122

・タブレットを使った対面音訳の実施

・大活字本の充実

・障害者週間展示(リーディングトラッカー、リーディングルーペの紹介)



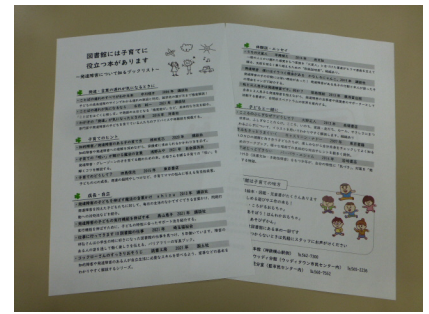
③ 子どもの読書推進、子育て支援

【目標3】子どもの読書推進、子育て支援を目的とした自主事業を積極的に展開すること。

・こわ〜いおはなし会などおはなし会109回開催、1日図書館員(3名)、プログラミング教室、工作教室、子どもミニ紙芝居講座、青空紙芝居、ぬいぐるみのおとまり会、普段読まない分野にも

興味を持ってもらう図書館ビンゴ等、実施

- ・小・中学生のための調べる学習教室、レポート相談会開催(6回)
- ・パスファインダーのHP掲載、調べ学習の入り口として、気軽に図書館で調べることを提案
- ・障害福祉課で配布する「発達障害について知るブックリスト」を作成。今後、他の課でも役立つブックリスト作成予定



④ 図書館員の資質及び業務水準の向上

【目標4】図書館員の資質及び業務水準の向上を目的とした研修を計画的に実施すること。また第三者の実施する研修にも図書館員を積極的に参加させること。

- ・認知症サポータースタッフの研修 新人への研修を実施しスタッフ100%取得
- ・レファレンス研修等、熟練度別の研修受講(のべ70名)(2月迄)

⑤ 移動図書館業務

【目標5】定期巡回(毎週金曜日)以外に、移動図書館を活用したアウトリーチ事業の充実を図ること。

- ・移動図書館「ひだまり」号の出張サービス
4回出動: 舘 daycare サービスセンター(8/11, 10/1, 12/1)、
有馬富士公園『森の図書館』(11/6)



⑥ 図書館内外への図書館情報の発信

- ・有馬富士公園、兵庫県立人と自然の博物館との共催で森の図書館を開催。アウトドア派のファミリー層にも図書館の魅力をアピール
- ・ツイッター・インスタグラム継続発信。特にツイッターはほぼ毎土日祝学習席の満席状況発信
- ・障害福祉課で配布する「発達障害について知るブックリスト」を作成
- ・小学校全生徒への電子図書館サービス案内配布
- ・生涯学習カレッジへの図書館案内配布
- ・未利用者アンケートの実施案内(web アンケートを開始)
- ・各新聞社への情報提供(新聞掲載件数7件)



⑦ その他

- ・ハニーFM「さんだ『学び×体験』ナビ」出演 2 回(6/16, 12/15)
- ・読書通帳登録キャンペーン(7/1-8/31)
- ・学校司書研修会に参加(7/6) 修理講座の依頼を受け実施
- ・職業インタビュー4 名(8/13, 12/26)
- ・学校連携事業として、初任者研修 1 名受入(8/17)
- ・障害者職業体験 1 名受入(9/14, 15)
- ・雑誌リサイクルブックフェア実施(1/22, 23)
- ・国際交流センターの図書館見学(1/15) 購入リクエスト表を入手

